

科目名	障害学 Disability Studies		担当教員 (研究室番号)	浦野 茂 (503)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	shigeru.urano@mcn.ac.jp					
履修年次	4年次前期	科目区分	教養・基礎科目		選択区分	選択	単位数 (時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	可
到達目標	障害をめぐって人びとの間にさまざまな深刻なコンフリクトがあること、そしてそれらが何に由来し、どのように解決困難なものであるのか。またそのコンフリクトについて、各自がどのように考えるのか。これらについて理解を得ることがこの授業の到達目標です。											
科目目的	人間の生命に関する様々な事柄が現代の社会においてどのような仕方で見られ、問題として経験されているのか、そしてまたこれらをもめぐって現にどのような政治が行われているのだろうか。この授業の目的は、こうした問題についてとくに障害（身体・知的・精神の障害）をめぐる社会的コンフリクトを事例に、検討します。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。（知識・理解）										
	関連するDP	A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。（姿勢・態度）										
成績評価方法 (基準)	授業での報告（50%）、授業への参加態度（40%）、期末試験（10%）による。											
再試験の有無と 基準等	再試験あり。追加レポートの提出による。											
教科書	中邑賢龍・福島智（編）『バリアフリー・コンフリクト』東京大学出版会、2012年。											
参考書等	中西正司・上野千鶴子『当事者主権』岩波新書、2003年。											
学生の主体性を伸ばすための 教育方法と学生への期待	授業は、履修者による発表とそれにもとづくディスカッションを中心に進めます。履修者には、各回の授業に先立って教科書の該当箇所を目を通してきたくうえでディスカッションに積極的に参加するよう、期待しています。											
備考												
回	学習項目	学習内容							主担当 教員	授業 方法		
1回	イントロダクション	授業の進め方および主題について導入的説明を行う。そのうえで、障害の社会モデルの観点から障害の概念についての解説を行う。							浦野	講義		
2回	バリアフリーをめぐるコンフリクト	能力の補償・代替・増強をめぐる支援とそれをめぐって生じているコンフリクトについて検討する。							浦野	講義		
3回	障害者のアイデンティティをめぐるコンフリクト	障害者のアイデンティティをめぐる主張とそれによって生じるコンフリクトについて、ろう者を事例に検討を行う。							浦野	講義		
4回	障害者雇用をめぐるコンフリクト(1)	障害者雇用の制度をめぐる思想と現状、そしてその功罪について検討する。							浦野	講義		
5回	障害者雇用をめぐるコンフリクト(2)	障害者雇用制度をめぐる各国の比較検討を行う。							浦野	講義		
6回	高等教育における障害学生への支援をめぐるコンフリクト	高等教育における障害学生に対する支援の公平性をめぐって生じているコンフリクトについて検討する。							浦野	講義		
7回	「合理的配慮」の概念について	障害者支援の根拠として近年提起されている「合理的配慮」の概念について、検討を行う。							浦野	講義		
8回	「障害者」の概念について(1)	日本における「障害者」概念の社会的形成過程とその変遷について検討を行う。							浦野	講義		
9回	「障害者」の概念について(2)	映像資料を基に、日本における「障害者」概念の社会的形成過程とその変遷について理解する。							浦野	講義		
10回	障害者支援の公平性をめぐるコンフリクト	障害者支援をめぐって議論されてきた公平性の問題について、そのコンフリクトの実態と、支援の公平性の根拠について、検討を行う。							浦野	講義		
11回	障害者のアートをめぐるコンフリクト	いわゆる「障害者アート」に対して提起されてきた批判を検討し、障害と表現との関係についてどう考えるべきか、検討する。							浦野	講義		
12回	精神障害と法的能力	刑法における免責規定について、その根拠およびそれをめぐって生じているコンフリクトについて検討する。							浦野	講義		
13回	障害者のアイデンティティとテクノロジーをめぐるコンフリクト	障害支援のテクノロジーとその利用が、障害者に対していかなる意味を持つのか、検討する。							浦野	講義		
14回	リハビリテーションをめぐるコンフリクト	リハビリテーションの持つ意義と問題について、障害当事者の観点から検討を行う。							浦野	講義		
15回	障害をめぐる政治	まとめ							浦野	講義		

学 習 課 題

各回の授業に先立ち、教科書の指定箇所に目を通し、関連する経験や問題をまとめておくこと。

実務経験を活かした教育の取組